



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月4日

上場会社名 株式会社メディカルー光 上場取引所 東
 コード番号 3353 URL <http://www.m-ikkou.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)南野 利久
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役専務取締役 (氏名)櫻井 利治 (TEL)059(226)1193
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日~平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	21,550	10.3	1,038	7.5	1,053	10.1	697	8.6
27年2月期第3四半期	19,541	15.6	965	5.2	956	9.7	642	29.3

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 831百万円(21.0%) 27年2月期第3四半期 687百万円(33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	364.00	—
27年2月期第3四半期	335.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	24,949	7,145	28.6
27年2月期	22,563	6,384	28.3

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 7,145百万円 27年2月期 6,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	30.00	—	37.50	67.50
28年2月期	—	32.50	—		
28年2月期(予想)				32.50	65.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日~平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	5.4	1,320	4.1	1,310	5.1	840	5.3	438.39

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年2月期3Q	2,035,000株	27年2月期	2,035,000株
28年2月期3Q	118,917株	27年2月期	118,917株
28年2月期3Q	1,916,083株	27年2月期3Q	1,916,086株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする新興国における景気減速の影響など先行きは不透明な状況にあるものの、企業収益および雇用・所得環境は改善傾向にあり、緩やかな回復基調が続いております。

調剤薬局業界におきましては、在宅医療の推進やジェネリック医薬品のより一層の使用拡大が促進される施策がとられ、介護業界におきましては、高齢化が進み介護サービスの需要が益々高まるなか平成27年4月から介護報酬の大幅な引き下げが行われました。

このような中、当社グループは超高齢社会の進展に伴い医療・介護サービスの需要は拡大するものと捉え、安全性を最優先としつつ事業規模の拡大および収益力強化に取り組んできました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高21,550百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益1,038百万円(同7.5%増)、経常利益1,053百万円(同10.1%増)、四半期純利益は697百万円(同8.6%増)となり、前年同期に比べ増収増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、第3四半期連結累計期間に新規出店およびM&Aにより三重県に2店舗、滋賀県に1店舗を開局し、静岡県の1店舗を閉局いたしました。これにより、店舗総数は前期(平成27年2月期)末比2店舗増加し、93店舗となりました。

既存店の売上が堅調に伸長したことに加え当期間における新店舗が寄与し、売上高は17,181百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益1,321百万円(同12.2%増)となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、有料老人ホームの入居者確保と新規開設した介護施設およびホームヘルスケア事業が寄与し、売上高は堅調に推移しましたが、収益面におきましては、介護施設開設にかかわる初期費用の負担と介護報酬引き下げが影響し、売上高3,212百万円(前年同期比18.7%増)、営業利益142百万円(同5.7%減)となりました。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、三重県・岐阜県を中心に展開してまいりましたが、新たに滋賀県においても営業を開始いたしました。

ジェネリック医薬品使用促進策に沿って市場が拡大する中、積極的な営業活動により売上高は伸長しましたが、一方で、競合が激しさを増す事業環境が収益面に影響した結果、売上高1,070百万円(前年同期比13.0%増)、営業利益56百万円(同35.7%減)となりました。(内部売上を含む売上高は1,485百万円となり、前年同期比で12.1%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高87百万円(前年同期比32.9%増)、営業利益42百万円(同5.1%減)となりました。

投資事業におきましては、有価証券売却損益172百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として446百万円を消去するとともに、全社における共通経費として524百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は24,949百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,386百万円増加いたしました。

流動資産の合計は11,334百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,855百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1,375百万円、売掛金の増加419百万円によるものです。

固定資産の合計は13,615百万円となり、前連結会計年度末と比較して530百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加533百万円によるものです。

負債合計は17,803百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,625百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)の増加1,262百万円、買掛金の増加411百万円によるものです。

純資産合計は7,145百万円となり、前連結会計年度末と比較して760百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益697百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月6日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が93,754千円減少し、利益剰余金が63,846千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,606,771	5,982,754
売掛金	3,189,145	3,608,738
商品	1,078,856	1,093,969
その他	604,776	650,141
貸倒引当金	△900	△1,100
流動資産合計	9,478,650	11,334,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,163,537	6,104,446
土地	2,766,758	2,820,487
その他(純額)	437,656	598,856
有形固定資産合計	9,367,951	9,523,790
無形固定資産		
のれん	965,186	920,547
その他	255,120	233,942
無形固定資産合計	1,220,306	1,154,490
投資その他の資産		
投資有価証券	1,219,229	1,752,810
敷金及び保証金	595,528	594,496
その他	681,769	589,422
投資その他の資産合計	2,496,527	2,936,729
固定資産合計	13,084,786	13,615,010
資産合計	22,563,436	24,949,513
負債の部		
流動負債		
支払手形	11,818	11,327
買掛金	3,440,575	3,852,374
短期借入金	5,020	—
1年内返済予定の長期借入金	2,544,035	2,935,596
未払法人税等	329,989	334,969
賞与引当金	162,306	19,682
その他	998,253	1,218,120
流動負債合計	7,491,999	8,372,071
固定負債		
長期借入金	7,626,421	8,497,010
退職給付に係る負債	479,968	416,288
その他	580,277	518,528
固定負債合計	8,686,668	9,431,827
負債合計	16,178,667	17,803,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	4,621,228	5,248,417
自己株式	△199,317	△199,317
株主資本合計	6,175,961	6,803,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,000	349,072
退職給付に係る調整累計額	△31,192	△6,606
その他の包括利益累計額合計	208,807	342,465
純資産合計	6,384,768	7,145,615
負債純資産合計	22,563,436	24,949,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	19,541,630	21,550,820
売上原価	17,309,426	19,180,914
売上総利益	2,232,204	2,369,906
販売費及び一般管理費	1,266,292	1,331,574
営業利益	965,912	1,038,332
営業外収益		
受取利息	1,373	793
受取配当金	13,932	18,807
権利金収入	30,171	71,296
業務受託料	3,588	3,393
助成金収入	5,794	7,364
その他	16,615	10,228
営業外収益合計	71,476	111,883
営業外費用		
支払利息	67,219	70,527
その他	13,281	26,471
営業外費用合計	80,501	96,998
経常利益	956,887	1,053,217
特別利益		
固定資産売却益	955	49
投資有価証券売却益	139,573	173,466
負ののれん発生益	54,640	—
補助金収入	17,983	—
保険解約返戻金	28,834	—
特別利益合計	241,987	173,515
特別損失		
固定資産除却損	11,075	19,419
減損損失	10,427	—
固定資産圧縮損	17,751	—
投資有価証券売却損	—	828
投資有価証券評価損	—	6,716
役員退職慰労金	55,016	—
特別損失合計	94,271	26,964
税金等調整前四半期純利益	1,104,603	1,199,769
法人税、住民税及び事業税	579,913	577,386
法人税等調整額	△117,365	△75,085
法人税等合計	462,547	502,301
少数株主損益調整前四半期純利益	642,055	697,467
四半期純利益	642,055	697,467

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	642,055	697,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,031	109,072
退職給付に係る調整額	—	24,585
その他の包括利益合計	45,031	133,658
四半期包括利益	687,086	831,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	687,086	831,125

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,823,263	2,705,654	946,994	65,717	19,541,630	—	19,541,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	274	378,719	24,300	403,293	△403,293	—
計	15,823,263	2,705,929	1,325,713	90,017	19,944,924	△403,293	19,541,630
セグメント利益	1,177,189	150,920	87,912	45,254	1,461,277	△495,364	965,912

(注) 1 セグメント利益の調整額△495,364千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用535,187千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,181,250	3,212,219	1,070,034	87,316	21,550,820	—	21,550,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,524	415,904	27,758	446,187	△446,187	—
計	17,181,250	3,214,743	1,485,939	115,074	21,997,007	△446,187	21,550,820
セグメント利益	1,321,013	142,318	56,557	42,968	1,562,858	△524,525	1,038,332

(注) 1 セグメント利益の調整額△524,525千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用565,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。